

街かど gallery



押し花教室を見学に行き、そこで見た色鮮やかな押し花に衝撃を受け、私の押し花生活がスタートしました。押し花を始めから沢山の花の名前を覚え、庭や道端の草花にも目を向けるようになりました。新しい花を見つけては押し花にし、出来た時の喜びは最初も今も変わりません。野菜や果物が押し上がった時の感動はひとしおでした。勉強を始めてまだ一年ですが先生や先輩方に教えて頂きながら経験を積み、周りの人に押し花の楽しさを広めたいです。



久留米市荒木町 安德 真美

青空いっぱい泳ぐ、日本男児誕生を祝う鯉幟君よ。さわやかな五月の空のように、みんな明るく元気に育ってほしい。そして、これから少子高齢化の厳しい日本ではあるが、よろしく頼む。

八女川柳会 安達 昇



日本の未来託すぞ 鯉のぼり

今日の山柳

今月の色

我が家の健康の源 日本一八女緑茶の緑



緑のウェーブが美しい八女中央大茶園

♪唄はちやつきり節 男は次郎長 花はたちばな 夏はたちばな 茶のかおり チャツキリ チャツキリ チャツキリよ 蛙が啼くんで 雨 ずらよ (静岡県民謡)

ご存知チャツキリ節は昭和2年現静岡鉄道の依頼により制作された遊園地のコマーショングである。近年ふるさと創生の動きが盛んだが当ても地域おこしや観光宣伝のため民謡調の新曲を作るのが流行った。作詞は北原白秋、30番までの長大な歌詞である。1973年NHK「みんなのうた」で弘田三枝子とザ・シャデラックスが歌っている。この時静岡の茶園を背景にした映像は原則コマーションを放送しないNHKが静岡茶のCMを放送した結果となった。GI八女伝統茶玉露産地に指定された八女人にとって残念至極である。

シネマ今昔物語 ③ 「64 ロクヨン」の巻

5月7日から「64」が2部作で公開されます。原作は「このミステリーがすごい」で1位になった横山秀夫の警察小説の名作です。わずか7日間で終わった昭和64年、少女の誘拐事件が起こり、警察の懸命の捜索にもかかわらず迷宮入りとなってしまいます。当時、この事件を担当していた主人公三上は、現在、刑事部をはずされ、広報官としてマスコミ対策に追われる日々を過ごしていますが、この事件を忘れることができません。そんな中、再び、同じ手口の犯行が行われる、といった内容のお話です。この小説はNHKが昨年、ドラマ化しており、近年のドラマの中では出色の出来でした。三上はピエール瀧が演じています。ピエール瀧はももとはミュージシャンでしたが、近年、演技者としても評価を高めています。映画では三上を佐藤浩一が演じます。佐藤浩一は名優三国連太郎の息子で、主役が張れる役者の1人です。ドラマと映画、どちらが良くできているか、見比べてみるのも楽しいのではないのでしょうか。ちなみに、NHKのドラマと映画の競作は過去にもあって、「八日目の蟬」では主人公を、ドラマは壇れい、映画は永作博美が演じ、「紙の月」では、ドラマは原田知世、映画は宮沢りえが演じて、いずれも、そのキャリアの中で屈指の名演になっています。ドラマと映画では、ドラマのほうが時間が長く、より細かい描写ができますが、「64」は、ドラマは50分の5回、映画は120分の2部作、時間はほぼ同じです。相撲で言えばがっぷり四つに組んだ勝負になっています。さあ、どちらが勝つか、楽しみですね。(R.I)

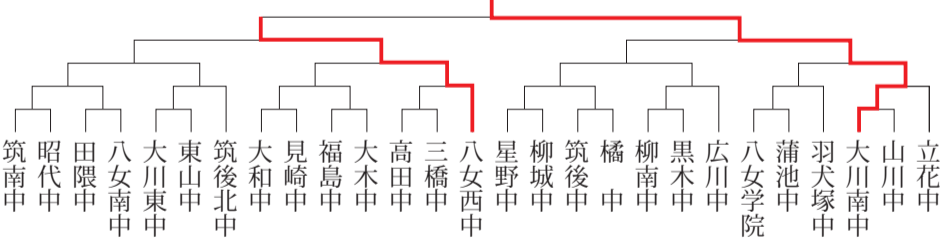


優勝校 大川南中学校(大川市)



準優勝校 八女西中学校(八女市)

ヤンマー建機杯第20回矢部川交流軟式野球大会はみやま、柳川、八女、筑後四市立中学校野球部27チームが参加して開催されました。試合結果は優勝大川南中学校(大川市)準優勝八女西中学校(八女市)でした。全力で戦ってくれた全選手の皆さん、大会開催にご尽力賜りました関係各位に心より御礼申し上げます。大会委員長 木本 文明



～ある、春の一日～

今年の桜の開花一番は福岡県でした。桜も散った春の朝、今日は予定もないので、庭でも整理しようといざ外へ。さあ作業開始!と思いきや、桜の木を眺めて中断。あっ、葉桜になっちゃった。隣の木にはサクランボが沢山ついている。鳥たちに食べられちゃうぞー。間もなく毛虫が出る季節だな～なんて思いながら、まずは草むしりからスタート。草を抜いたら根っこと一緒にミミズが付いてきてここでも、季節の変わり目を知らせてくれる。毎年沢山の白い花を咲かせていたライラックの枝が葉っぱ一枚もなく残っている。気づいてはいたが、やっぱり可哀想...ノコギリを使い一枝切ってみた。「あれ」枝はまだ生きていました。枝の根元の節の間を見ると、1ミリ程の小さな新芽が草に隠れて吹いています。生きてたんだ。また来年の今頃には花芽を付けてくれることを想像して嬉しくなりました。こんなに人の目の届かないところで、春から初夏に向かって庭の木々が芽吹き、鮮やかな新緑に衣替しようとして一杯がらんでいる枝を見て、自然の息吹き、植物の強さを感じる小さな春に感動したのどかな一日でした。 紫原 嘉人



花名:ライラック(花色:白・むらさき・ピンクなど)、科名:モクセイ科、原産国:ヨーロッパ、樹高:4~8m、開花期:4~5月

矢部川源流・杉の里の四季 ⑤⑤

キランソウ(金瘡小草) [シソ科]

キランソウは道ばたや山麓の日当たりのよい場所に生える多年草。開花は3~5月。地面をほうように広がることから「ジゴクノカマノフタ」ともいう。

昔から有名な生薬で、高血圧、鎮咳、祛痰、解熱、健胃、下痢止めなどに効果があるとされ、生の葉汁は火傷、切り傷、湿疹、膿の吸出しに利用された。八女地方では「医者要らず」、「ゲカダワシ」とも呼ばれている。

黒木町 松尾 重根

